

四万十市	山路の一部(その3)
------	------------

打合せ経費

名称	規格	員数	単位	単価	金額	備考
測量主任技師		1.5	回			着手・中間・最終
測量技師		1	回			着手・最終
測量技師補		0.5	回			中間
合計	(人件費)					

打合せ経費計上額 円

作業区分の変化率の算定【山路(その3)】

実施面積	:	0.43 km ²			
一筆平均面積	:	463 m ² (調査前)			
	:	723 m ² (調査後)			
縮尺	:	1/500	視通条件	:	農 I
精度	:	乙1	筆の形状	:	不整形
傾斜条件	:	平坦地	計画区からの距離	:	3.2 km

※表〇-〇は地籍調査事業費積算基準書より

変化率の算定

$$\begin{aligned}
 \text{G工程} &= \left(\frac{r_G}{r_G} \right) \times \text{実施面積} \\
 &= \left(\frac{0.91}{0.39} \right) \times 0.43 \\
 &= \underline{0.91} \quad \text{表1-20}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{H1工程} &= \left(\frac{r_H}{r_H} \right) \times \text{実施面積} \\
 &= \left(\frac{1.7}{0.73} \right) \times 0.43 \\
 &= \underline{0.73} \quad \text{表1-20}
 \end{aligned}$$

H工程

$$\begin{aligned}
 \text{複図枚数} &= \frac{\text{標準枚数}}{\text{標準枚数}} \times \text{実施面積} \times 2 \quad (\text{2部作製するため※1}) \\
 &= \frac{72}{30.96} \times 0.43 \times 2 \\
 &= \frac{31}{2} \\
 &= \underline{62} \quad \text{表1-8}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{複図費} &= \left(\frac{\text{工程基準額}}{100} \right) \div \left(\frac{100}{100} \right) \times \text{複図枚数} \\
 &= \left(\frac{\text{工程基準額}}{100} \right) \times 62 \quad \text{※2}
 \end{aligned}$$

H2工程(閲覧)の歩掛について

積算基準書では技師・技師補・助手の上限が20であるが、以下のとおりとする。

○技師・技師補

閲覧期間20日間の内、14日(内休日1日以上)は、技師・技師補を配置すること。

○助手

閲覧開始から7日間は助手を配置すること。

※1 H工程複図2部について

登記所保管用と税務課保管用の2部とする。

(地籍調査作業規程準則第89条第2項及び地籍調査関係通達昭和48年3月20日付け経済企画庁
総合開発局国土調査課長指示 による)

※2 100円未満切り捨て